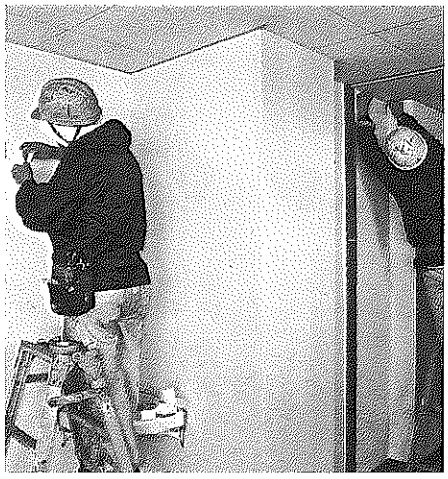
H28.11.21 28

塗料界新報（昭和32年5月17日　第3種郵便物認可）　第2516号

児童施設で奉仕塗装

日塗装埼玉支部が廊下塗替え

（一社）日本塗装工業会埼玉県支部（松尾康司　支部長）は「いいいろ塗装の日」11月16・17日に、児童養護施設「おお里」（埼玉県熊谷市）において、無償で室内廊下を塗り替えるボランティア活動を行った。環境に配慮した水性塗料を使用して、内部廊下250㎡を綺麗に塗り替えた。



埼玉県支部では、塗装を通じて少しでも社会貢献をしたいとの想いから、毎年「いいいろ塗装の日」にボランティア塗装を行っている。訪問先は県内の社会福祉施設で、特に施設内のメンテナンスに手が行き届かないところを重点的に実施している。

今回は、支部北部地区の会員が中心となって、2日間で延べ20社25名の支部会員が参加して、1階の屋内廊下と窓枠、スチール扉など約250㎡をホワイト色の環境対応形塗料で塗装した。

児童養護施設「おお里」は、昭和52年（1977年）に埼玉県が県内2か所目の県立養護施設として開所し、県社会福祉事業団が運営している。敷地内に管理棟と4つの児童棟、親子訓練があり、現在、職員数61名、103名の子どもたちが在所している。

おお里副園長の栗原浩さんは『児童養護施設は、様々な理由により、保護者がいない児童や、保護者の適切な養育が受けられない児童が生活しており、生活支援や学習支援の他に、自立に向けた支援等も行っています。生活している児童が、綺麗な環境の中で、安心・安全な生活ができるよう、職員一同これからも支援に尽力していきたいと思います』と話していた。

使用された塗料や塗装用品・副資材等は、日本ペイント、大塚刷毛製造、富田商店が協力提供した。